H27 アクションプラン　上半期の振り返りと今後のアクションシート　事業№29

①事業の基礎情報

事業名		コミュニティ・ビジネス創出支援事業				担当部・グループ名		都市政策部 地域産業グループ			
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名		板倉　宏幸			
新規・継続の別		**継続事業**				電話番号(内線)		52-1111(内線 273)			
総合計画（基本計画）体系	個別目標	（６）産業を活性化して、まちを元気にします				予算書上の予算・事業名	款	７款　商工費			
							項	１項　商工費			
	こんなことに取り組みます	コミュニティ・ビジネスの創業や持続的な経営に向けた支援を行います。					目	２目　商工振興費			
							事業名	６　コミュニティ・ビジネス創出支援事業			
	みんなで目指すまちづくり指標名	市内の法人数									
		現状値(H25)	898	実績値(H26)	922	実績値(H27)		実績値(H28)		目標値(H29)	930	(単位)社

②事業の概要

目的 （何をどうするために）	★今後、少子高齢化の進行により、厳しい財政状況が予測される中、地域の身近な課題を地域自らが解決させるため、ボランティア活動だけではなく、地域の人材、産業、伝統的な技術・知識、既存施設などの地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの創出や自立した継続的な運営となるよう支援し、雇用や生きがいの創出を図る。		
対象(誰・何を対象に)	市民、市内の事業者、市民公益活動団体	対象の数量	46,373 人
最終目標 （最終的に何がどうなれば達成か）	☆まちの元気を生み出そうと、意欲をもった市民や団体が、ビジネス手法による地域課題解決や活性化に向けた行動をおこしている。また、コミュニティ・ビジネスとして創業した事業者と地域、地域団体、企業、行政とで連携し底力のある地域になっている。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度（当初予算額）				主な内容
事業費総額（千円）			2,250	・報償費 58 千円 ・旅費 6 千円 ・需用費 82 千円 ・委託料 994 千円 ・使用料及び賃借料 10 千円 ・負担金、補助及び交付金 1,100 千円
財源内訳	一般財源		2,250	
	特定財源	国・県支出金	―	
		その他	―	
補助事業・単独事業の別			単独事業	

④上半期の進捗状況（目標の達成に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どうした　※箇条書きで記載する	いつ（年月）	アウトプット
実施内容	①専門家とともにコミュニティ・ビジネス創業支援業務を開始する。	H27.4～	
	②チャレンジャーの発掘に取り組んだ	H27.5～	チャレンジャーの発掘
	③チャレンジャーが感じている高浜の課題の確認を行った。	H27.8～	課題の抽出
	④チャレンジャーの未来予想・理念形成の確認を行った。	H27.8～	方向性の確認
進捗状況	新規のチャレンジャーの発掘に想定していたよりも時間を費やしたが、チャレンジャーの意欲や課題などを丁寧に時間をかけて確認している。		
参画・協働・情報共有の工夫	★市民が感じている課題を抽出するため、他グループのワークショップとの連携と情報共有を図り、双方での事業展開をスムーズに行う仕組みづくりを考えている。		
実施内容に対する成果（事業の自己評価）	☆チャレンジャーの発掘に成功した。		
	☆チャレンジャーの理念構想の確認を行えた。		

⑤課題と今後の取組みの方向性（上半期を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
（1）コミュニティ・ビジネスの持続 ・コミュニティ・ビジネスを継続して続けていくための安定した仕組みづくりが必要。	・応援企業への行政の対応や意欲を高め、主体的に取り組むチャレンジャーが育つように支援していく。
（2）コミュニティ・ビジネスの理念形成 ・チャレンジャー（担い手）及び地域・企業（受け手）とをスムーズに結びつける共通理念が必要。	・チャレンジャーと地域・企業等との連携の促進を図る機会を創出する。

⑥課題解決に向けた下半期の具体的なアクション（案）

	何を・どうする　※箇条書きで記載する	いつまでに（年月）
実施内容	①チャレンジャーの未来予想・理念形成の確認	H27.12
	②他グループ実施のワークショップに参加し、地域課題を抽出する	H27.12
	③地域課題とチャレンジャーとの結び付け	H28.1
	④創業し活動中のチャレンジャーのフォローアップサポート	通年
参画・協働・情報共有の工夫	★他グループワークショップに参加し、参加市民の意見や思いを実現するためのツールとしてコミュニティ・ビジネスが活用できないかを検討する。	

特記事項	